

株式会社ジェイコムウエスト
第14回（2024年度）放送番組審議会 実施概要

第14回の放送番組審議会は、2024年12月5日(木)、株式会社ジェイコムウエスト本社において、5名の審議委員が出席し開催。審議会委員長進行のもと、『ジモトピックス』『住めば MIYAKO』を視聴し、番組に関する審議を行った。

■ 審議委員（出席者）

委員長	中川 修一	（高槻まつり振興会 会長）
委員	小山 敬子	（オフィス KEIKO 代表）
	千田 忠司	（千日前道具屋筋商店街振興組合 理事長）
	松田 須英子	（伏見大手筋商店街振興組合 理事）
	土屋 智子	（宝塚商工会議所 専務理事）

■ 審議番組

『ジモトピックス』泉州和歌山版（2024年5月25日放送分）

『住めば MIYAKO』大阪府八尾市（2024年9月後半号）

■ 審議内容

1. 番組①『ジモトピックス』泉州和歌山版（2024年5月25日放送分）

- ・情報が深掘されており、紹介されている地域に足を運んでみたいと思う内容となっていた。
実際に行く際の地図や交通アクセスなども取り込んで発信したらどうか。
- ・伝統的な行事を映像としてうまくまとめられており良かった。
- ・祭りの映像については全般的には感動したが、祭りの中での危険な場面に対するコメントも（編集時に）欲しかった。
- ・「ど・ろーかる」アプリはこのような地域イベントが紹介された際、まわりの人に視聴を勧めることができるので大変良い。
- ・取材されている人の楽しい表情が伝わってきて良かった。
- ・番組の最初に放送の内容（取材の内容）が紹介されており、わかりやすい。
- ・イベントの情報などがテロップで確認できるのが良かった。
- ・今回は泉州和歌山版を視聴したが、他の地域でも同様のイベントがあると思う。特に、夏～秋にかけてはイベントや祭りが集中するが、取材の方法・映像の撮り方などを考えて同じイベントにみえないように個性を大切に制作してほしい。
- ・主催者の顔や想い、地域の顔がみえるような番組作りをしてほしい。主催している立場としては工夫をしてイベントを企画運営しているので、見る方が同じようなイベントとしてとらえないように工夫をして番組も制作してほしい。

2. 番組②『住めば MIYAKO』大阪府八尾市（2024年9月後半号）

- ・家にあまり興味がないが、現在の住宅事情が知れてよかった。家をさがしている人への情報提供番組と思った。
- ・「住めば MIYAKO」の「住めば」が「家に住む」なのか、「地域に住む」なのか、伝えたいことがわかりづらかった。
- ・地域（地元）の方が紹介されているのはよかったが、番組として何を伝えようとしているのかがわからなかった。
- ・地域情報と住宅情報が混在しており、コンセプトがわかりづらかった。
- ・番組の冒頭に番組コンセプトをつけると見やすくなると思う。
- ・住宅を紹介するのであれば、二世帯向け、高齢者向け、若夫婦向けなどターゲットを決めて紹介することで見やすい番組になるのではと思った。
- ・レポーターの表現に工夫が必要。第一声がどこに行っても全部「かわいい」なのが気になった。

3. その他番組全般についてのご意見

- ・商工会議所主催で高校生向けの特別講義・意見交換会の取材、番組で紹介してもらった。華やかなイベントではなく、難しいテーマではあったが、うまく編集された映像となっていた。高校生にとってもテレビ放送で紹介されたことが記念となり大変良かったと思う。
- ・毎年、祭りの番組を制作してもらっている。祭りの主催者として、小中学校生に意見を聞きながら、新しことを取り入れながら実施しているので、番組でもその小中学生にスポットをあてることで、話題になり視聴につながるのではないか。
- ・頻繁に取材をしてくれ、発信してくれているのでありがたい。
- ・取材を受けた際、関係者に放送日時が伝わってこないことがある。
- ・新聞のラテ欄に J:COM チャンネルの番組表も載せられないか。

以上のご意見を、現場の制作スタッフや関係者にフィードバックし、今後の制作に役立てることを事務局よりお伝えし、番組審議会を終了した。

以上